

## 抗議の要請文

**6月30日の原子力潜水艦オハイオの横須賀入港に強く抗議する。横須賀は、原子力潜水艦の母港ではない。原子力潜水艦オハイオはただちに横須賀基地から出て行くこと強く要求する。**

米海軍第7艦隊司令官 ジョセフ・P・アーコイン中将 殿  
在日米海軍司令官 マッシュ・カーター少将 殿  
米海軍横須賀基地司令官 スティーブン・ウィーマン大佐 殿

神奈川県労働組合総連合  
新日本婦人の会神奈川県本部  
神奈川県商工団体連合会  
神奈川県平和委員会  
安保廃棄神奈川県統一促進会議  
原子力空母の母港化を阻止する三浦半島連絡会  
原水爆禁止神奈川県協議会

6月30日午前10時42分、原子力潜水艦オハイオが横須賀地に入港した。原子力潜水艦の入港は今年7回目、原子力艦船の入港は9回目で通算924回となった。

原子力潜水艦オハイオは、米海軍が現在保有する戦略ミサイル原子力潜水艦として、核弾頭を装備し弾道ミサイルの発射を主要な任務している攻撃型の潜水艦である。このような危険な核戦争につながる原子力潜水艦の横須賀基地への入港は、アジアの緊張をいっそう強めるものであり、平和的外交による東アジアの平和と安全の道を閉ざし、いっそうの緊張と危機を作り出すものである。

私たちは、今回の原子力潜水艦オハイオの横須賀入港に強く抗議するとともに、ただちに原潜オハイオは横須賀基地から出て行くことを要求する。

原潜オハイオの横須賀入港は、その装備から核兵器(核弾頭)搭載の疑念を拭い去ることはできない。米原潜の核兵器搭載、核持ち込みは重大である。核密約によって核兵器が横須賀に持ち込まれていたことはすでに明らかになっている。非核三原則を国是とする日本の港に核兵器を持ち込むことは絶対に許されない。原子力潜水艦などの原子力艦船が核兵器を積んでいないことを証明すると同時に、核密約はただちに破棄することを要求する。

現在、首都圏は巨大地震の発生確率が強まっている。地震や津波による原子炉事故が懸念され、県民の不安は広がっている。首都圏や三浦半島で巨大地震がいつ起きても不思議でなく、原子力艦船の原子炉事故の可能性は増大している。米軍は、「原子力艦船は安全だ。事故は起きない」と言い「原子力艦船の安全神話」を押しつけ、まともな地震や津波などの事故対策を講じようとしていない。あらためて原子力艦船の事故対策を明らかにし、情報を公開することを要求する。

戦争のための原子力空母や潜水艦が頻繁に入出港を繰り返すことは、横須賀をアメリカの核戦争の出撃拠点とするものである。この間、核実験・弾道ミサイルの発射など朝鮮半島をめぐる情勢が緊迫しているが、日米韓の軍事的対応は事態の解決とはならずいっそう深刻な軍事的緊張を作り出し、アジア・太平洋の平和と安全にとって大きな障害をもたらすものである。問題の解決は、6カ国協議など外交努力で事態の打開、問題の解決をはかるべきである

横須賀基地を戦争の出撃拠点にし市民を放射能被害の危険にさらす原子力艦船の母港化、入出港はただちにやめ、原子力潜水艦オハイオは、横須賀から直ちに出て行くことを重ねて要求する。

以上